

# タスク管理を支援するタスクコンシェルジュの開発

木崎 悟<sup>†</sup> 成田 亮<sup>†</sup> 丸山 英通<sup>†</sup> 土屋 陽介<sup>†</sup> 中鉢 欣秀<sup>†</sup>

<sup>†</sup> 産業技術大学院大学産業技術研究科

## 1. はじめに

本研究では、タスク管理を支援するタスクコンシェルジュ(以下本システムと記す)を開発した。タスク管理を支援するために、Getting Things Done(以下 GTD と記す)というタスクを効率化する仕事を基とし、タスクの自動割当て機能や Google カレンダーとの連携機能を付加して、初心者でも使いやすいタスク管理システムを構築した。

## 2. タスク管理の問題点

忙しい人が既存のタスク管理ツールを使うと、タスクが多くなってしまい管理が煩雑になってしまう。継続したタスク管理には向かないのでやめてしまう可能性が高い。そのため、問題点を解決させるため GTD という個人の生産性を向上させることができる仕事を取り入れた。やらなければならない仕事に関する情報を蓄え、追跡し、思い出すことを簡単にすればどうしたらよいかという心理学的基礎に基づく GTD を使うと頭をすっきりさせることができ、優先すべきタスクを見つけ効率のよいタスク管理が実現できる。

## 3. タスクコンシェルジュの概要

タスク管理を行うために以下の環境を準備した。図 1 はそれらの関係を表したものである。

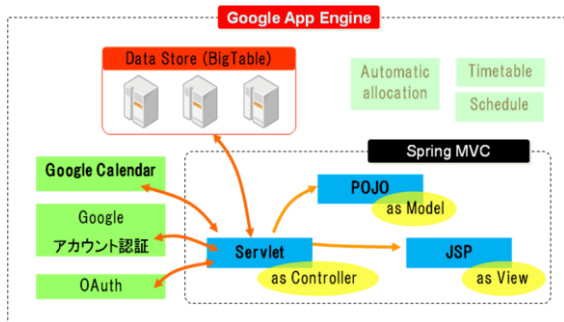


図 1. システム構成

日本国内のみならず、海外からのアクセスも考慮にいれているためサーバには Google App Engine を採用した。フレームワークは Spring

MVC を利用し各種機能を実現した。まず、GTD の収集、処理・整理、見直し、実行の各プロセスの実装した。その後、より使いやすくする機能の検討を行い、タスクの自動割当て機能を実装した。自動割当て機能とは、タスクの見積もり時間を基にユーザーの空いている時間に割当てる機能である。また、スケジュール管理も考慮に入れ Google カレンダーと連携したシステムを構築した。ユーザーは Google のアカウントを利用して、各種機能を利用することができセキュリティ面の強化を図った。

## 4. タスクコンシェルジュの利点と問題の解決

本システムを使用することにより、下記のような利点を得ることができる。1 つ目は、ユーザーはシステムの指示に従い一連のプロセス実行し、自然と GTD を習得することができる。2 つ目は、Google Apps (Google カレンダーなど) を利用しているユーザーが本システムを利用しやすく連携した機能を提供できる。3 つ目は、時間が決まっていないタスクを自動的に振り分けることが可能であり、効率のよいタスク管理をすることができる。

## 5. おわりに

効率的にタスク管理を行う手法として GTD を採用し、本システムを構築した。ユーザー評価を行い、改善をしていきたいと考えている。タスクの登録方法としてスマートフォン対応も視野に入れている。

謝辞

本システムはベトナム国家大学の学生と共同で開発しました。多大なご協力を頂きここに謝意を表します。

## 参考文献

- [1] David Allen, 森平慶司 訳『仕事を成し遂げる技術 - ストレスなく生産性を発揮する方法』, はまの出版, 2001年